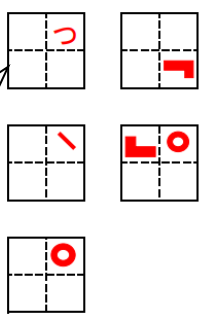



【今日のもくひょう】ふきのとうがかおを出したようすをかんがえて、音読しよう！		お休み中のかだい
こくご	5月12日(火) かだい	ふきのとう⑨
P22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートはできるだけ 15 マスのノートをよういしましょう。なければ 1年生のつづきや白いかみでもいいです。</li> <li>・右と左どちらも あたらしいページをひらいて つかっていきましょう。</li> </ul>	
音読①	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ふきのとう」の⑦のつづき・⑧(P22 1～6ぎょう目)を音読しよう。</li> <li><b>ポイント!</b>・・・ふきのとうがかおを出したようすをそうそうしながら 音読しよう。</li> </ul>	
めあて	とうじょう人ぶつの気持ちをかながえて、くふうして読もう。	
	※あたらしいページに おはなしの名まえ「ふきのとう」・日づけ・めあてを書こう。	
かつどう	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音読したところを <b>視写(ししゃ)</b>しよう。</li> <li style="padding-left: 40px;">➡<u>お手本の文しょうを 書きうつすこと。</u></li> <li><b>ポイント!</b>・・・①字はこく・はっきり・ていねいに 書く!</li> <li style="padding-left: 40px;">②マスからはみ出さないように書く!</li> <li style="padding-left: 40px;">③かたまりで おぼえて 書く!</li> <li style="padding-left: 40px;">(れい)「わたしは犬がすきです。」をししゃするとき、</li> <li style="padding-left: 80px;">×「わたし」「は」「犬」「が」「すきで」「す。」とうつす。</li> <li style="padding-left: 80px;">◎「わたしは」「犬が」「すきです。」とうつす。</li> </ul> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">         小さい字や てんや まるの書きかた       </div> <p>※<b>ポイント!</b>をかんばんって ししゃすると・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ことばを たくさん おぼえられる!</li> <li>②しゅう中力がつく!</li> <li>③早く・正しく 文を書けるようになる!</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-right: 10px;">         小さい や・ゆ・よ もここに 入るよ       </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; margin-left: 10px;">  </div> </div>	
かんがえる①	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「こんにちは。」と言っているのはだれですか?</li> <li style="padding-left: 40px;">言っているとうじょう人ぶつを赤えんぴつでかこみましょう。(ノート)</li> </ul>	
かんがえる②	<ul style="list-style-type: none"> <li>●かおを出して、「こんにちは。」と言ったふきのとうはどんな気持ちだったと思いますか?(ノート)</li> <li><b>ポイント!</b>・・・そとが見たくて 「よいしょ よいしょ。」とふんばってかおを出そうとがんばっているばめんがあったね!</li> </ul>	

音読②

●学しゅうしたことをいかして 音読しよう。

**ポイント!**・・・かおを出すことができた ふきのとうの気持ちを  
思い出しながら 読みましょう。

5 12 火

き	か	っ	ふ
て	お	て	ず
う	を	ふ	の
れ	出	ん	と
し	し	ば	そ
い	て	っ	と
気	そ	て	が
も	と	い	見
ち	を	た	た
	見	か	く
	る	ら	て
	こ		
	と	や	が
	が	っ	ん
	て	と	ば

1ぎのあけ

5 12 火

す	も	か	ふ	め	ふ
っ	う	こ	お	ん	と
か	り	ん	を	が	う
は	り	に	出	え	の
る	は	ち	し	て	じ
で	は	は	ま	う	ょう
す	ら	ま	し	く	人
	す	し	た	ふ	ぶ
		た		う	つ
				し	の
				て	気
				読	も
				も	ち
				う	を
				か	か